

<p>団体名</p>	<p>NPO法人 HEALTHY FAMILY はままつ</p>	<p>活動タイトル</p>	<p>妊娠期からの親子・家族の愛着形成と虐待予防のための家庭訪問</p>	
<p>望ましい社会状況および団体のビジョン（社会的役割と活動基盤）</p>			<p>■ 活動風景</p>	
<p>● 望ましい社会状況(ビジョン)</p>	<p>親子・家族が地域の人々と自助、互助、共助の関係の中で、安心して子育てができ、子どもの虐待のない子育て環境を作り、健全な次世代の育成に繋げることをめざす。 親が自分の長所に気づき、自信をもって、その親子らしさを発揮して子育てができるために、社会資源（公的扶助、子育て広場、情報の活用など）の活用方法を理解し、一人で悩まないで、他者の助けを求める力を持つことができ、地域の中で親子・家族が自立し、地域で安心して子育てができるように支援を通して、健全な次世代の親子・家族の育成を行う。</p>		<p>多職種交流会</p>	
<p>● 団体の社会的役割(ミッション)</p>	<p>1) 妊娠期からの家庭訪問を行い、親子・家族の長所に焦点を当て、親子の愛着を深め親の自立を図る。 2) 家庭訪問員の養成と質の担保のために、毎月のケースカンファレンスと家庭訪問員のための研修を行う。 3) 多様な対象の親子・家族が地域で安心して子育てができるために、多職種連携の交流会を通して、ネットワークづくりとデータベースづくりを行う。 4) HFHの理念に基づいた親子の集いの場の開設や多国籍の妊婦や子育て中の親子を対象に活用できる制度や手続き方法などの翻訳冊子（スペイン語・ポルトガル語等）を作成する。</p>		<p>多職種交流会</p>	
<p>● 団体の活動基盤</p>	<p>1) 家庭訪問員の養成と人材確保と育成：①家庭訪問員の養成講座（10講座）を行う。②訪問対象者の拡大のために、広報活動として、チラシ・ポスターを病院・クリニック、外国人コミュニティなどに配布し、訪問ケースの増員を図る。 2) 活動資金：①家庭訪問員の養成講座の受講料1回1,000円、②研修会の参加費3,000円、③親子の集いの参加費500円、④寄付金収入や賛助会員を募り、活動財源を得る。 3) ナレッジ：妊娠期からの家庭訪問活動（5年間）と家庭訪問員の養成講座のノウハウを可視化して、家庭訪問の改訂版マニュアルの作成に反映させ、家庭訪問員の質の向上と当団体の活動運営の発展に繋げる。</p>		<p>多職種交流会</p>	
<p>■ 活動報告</p>		<p>■ 1年間の目標に対する達成状況(まとめ)</p>		
<p>・リスクのある親子への家庭訪問 新型コロナウイルス感染の拡大により、電話やメールによる支援を取入れながら実施した。新規家庭訪問対象者とのつながりがもてにくい状況があったが、地域の産科婦人科医院との連携の要請が2医院からあり、連携の準備を進め動き始めた。また、妊娠出産子育てに関する手続き方法の冊子をスペイン語と英語で翻訳して完成させた。 ・家庭訪問員の養成講座 新型コロナウイルス感染予防を徹底して、人数制限をして、Zoomも活用して、全10講座の開催をした。延べ6名の参加があった。 ・多職種交流会 行政保健師、地域で活動している社会福祉団体、弁護士との交流会を開催した。 ・活動基盤の強化 家庭訪問マニュアルの見直しは、スクリーニング項目を完成させた。今後両親の背景調査内容の検討を継続していく。研修会は、小規模保育園を立ち上げたNPO法人の理事長を講師に迎えて研修した。親子広場は、新型コロナ感染拡大により実施できなかった。</p>		<p>・リスクのある親子への家庭訪問 ケースカンファレンスを毎月一回開催した。親子の強みを大切に愛着形成を促進する支援によって2ケースが自立と判断し、家庭訪問を終了した。6ケースが継続支援をしている。翻訳冊子（2か国語）が完成し、今後活用の運びとなった。 ・家庭訪問員の養成講座 全10回の講座を開催した。6名の受講者があり、2名が受講完了した。とても満足・満足と答えた受講者がほとんどであった。満足の内容では、役立つ情報が得られた、日頃の生活や活動に役立ったとの回答が多かった。 ・多職種交流会 地域で活動している団体・組織と3回の交流会を開催した。講義・話し合いともに、全参加者が、とても有意義・有意義と回答し、連携していく糸口を考えることができた。 ・活動基盤の強化 修正版スクリーニング項目が完成し、問題なく活用している。研修会は、参加者全員がとても有意義。有意義であったと回答し、子育て支援の考え方を再度見つめ直すことができた。</p>		
<p>■ 事業を通じて得られたノウハウ</p>		<p>■ 望ましい社会状況を達成するための課題</p>		
<p>・在日外国人が妊娠・出産・産後に体験した中から必要とされた内容を翻訳項目に織り込んだことが、活用のしやすさに繋がった。 ・妊娠出産子育てに関する手続き方法の冊子をスペイン語と英語で翻訳して完成させた。病院、産科婦人科医院、小児科医院、助産所で対象者に説明する際に活用することができる。 ・地域の産科婦人科医院との連携方法を打ち合わせ、記録用紙を活用して情報を共有する体制ができた。 ・コロナ禍における養成講座の方法として、県をまたいだ移動が必要な講師の講義をZoomを活用して行った。 ・行政保健師、法律事務所の弁護士、子どもの福祉に関わるNPO法人とのつながりができた。今後、相談や連携をしていく。 ・小規模保育園を立ち上げ、幅広く児童福祉施設を運営しているNPO法人の講義から、今後のHFH活動の方向性を考えることができた。</p>		<p>・妊娠出産子育てに関する手続き方法の冊子をスペイン語と英語で翻訳して完成させた。今後、浜松市に多く居住している外国籍の人に向けて、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語への翻訳を進める。 ・地域の産科婦人科との連携を広げていく。 ・新型コロナウイルス感染の状況など、社会情勢をふまえて、リモートによる家庭訪問、動画の配信など、臨機応変に対象のニーズに応じた活動方法を検討していく。 ・地域で活躍している活動団体との交流会やネットワークを拡大し、対象者のニーズに対応できるシステムづくりを検討していく。 ・質の高い家庭訪問を継続していくために、家庭訪問員養成講座を引き続き開催する。受講後、HFHの会員となって、ともに活動をしていく仲間を増やしていく。 ・会員の研修会、講演、ケースカンファレンスを通して、会員の質の担保に繋げる。</p>		
<p>■ 事業を通じて得られたノウハウ</p>		<p>この1年間の活動を通じて</p>		<p>■ 活動成果のアピールポイント（自由記入）</p>
<p>・在日外国人が妊娠・出産・産後に体験した中から必要とされた内容を翻訳項目に織り込んだことが、活用のしやすさに繋がった。 ・妊娠出産子育てに関する手続き方法の冊子をスペイン語と英語で翻訳して完成させた。病院、産科婦人科医院、小児科医院、助産所で対象者に説明する際に活用することができる。 ・地域の産科婦人科医院との連携方法を打ち合わせ、記録用紙を活用して情報を共有する体制ができた。 ・コロナ禍における養成講座の方法として、県をまたいだ移動が必要な講師の講義をZoomを活用して行った。 ・行政保健師、法律事務所の弁護士、子どもの福祉に関わるNPO法人とのつながりができた。今後、相談や連携をしていく。 ・小規模保育園を立ち上げ、幅広く児童福祉施設を運営しているNPO法人の講義から、今後のHFH活動の方向性を考えることができた。</p>		<p>この1年間の活動を通じて</p>		<p>・地域の産科婦人科医院との連携体制が整った。 ・妊娠出産子育てに関する手続き方法の翻訳冊子を作製した。 ・地域の組織と交流会をもち連携の糸口を確認することができた。</p>
<p>・在日外国人が妊娠・出産・産後に体験した中から必要とされた内容を翻訳項目に織り込んだことが、活用のしやすさに繋がった。 ・妊娠出産子育てに関する手続き方法の冊子をスペイン語と英語で翻訳して完成させた。病院、産科婦人科医院、小児科医院、助産所で対象者に説明する際に活用することができる。 ・地域の産科婦人科医院との連携方法を打ち合わせ、記録用紙を活用して情報を共有する体制ができた。 ・コロナ禍における養成講座の方法として、県をまたいだ移動が必要な講師の講義をZoomを活用して行った。 ・行政保健師、法律事務所の弁護士、子どもの福祉に関わるNPO法人とのつながりができた。今後、相談や連携をしていく。 ・小規模保育園を立ち上げ、幅広く児童福祉施設を運営しているNPO法人の講義から、今後のHFH活動の方向性を考えることができた。</p>		<p>この1年間の活動を通じて</p>		<p>を達成しました。</p>
<p>・在日外国人が妊娠・出産・産後に体験した中から必要とされた内容を翻訳項目に織り込んだことが、活用のしやすさに繋がった。 ・妊娠出産子育てに関する手続き方法の冊子をスペイン語と英語で翻訳して完成させた。病院、産科婦人科医院、小児科医院、助産所で対象者に説明する際に活用することができる。 ・地域の産科婦人科医院との連携方法を打ち合わせ、記録用紙を活用して情報を共有する体制ができた。 ・コロナ禍における養成講座の方法として、県をまたいだ移動が必要な講師の講義をZoomを活用して行った。 ・行政保健師、法律事務所の弁護士、子どもの福祉に関わるNPO法人とのつながりができた。今後、相談や連携をしていく。 ・小規模保育園を立ち上げ、幅広く児童福祉施設を運営しているNPO法人の講義から、今後のHFH活動の方向性を考えることができた。</p>		<p>この1年間の活動を通じて</p>		<p>■ 受益者の具体的な変化（自由記入）</p>
<p>・在日外国人が妊娠・出産・産後に体験した中から必要とされた内容を翻訳項目に織り込んだことが、活用のしやすさに繋がった。 ・妊娠出産子育てに関する手続き方法の冊子をスペイン語と英語で翻訳して完成させた。病院、産科婦人科医院、小児科医院、助産所で対象者に説明する際に活用することができる。 ・地域の産科婦人科医院との連携方法を打ち合わせ、記録用紙を活用して情報を共有する体制ができた。 ・コロナ禍における養成講座の方法として、県をまたいだ移動が必要な講師の講義をZoomを活用して行った。 ・行政保健師、法律事務所の弁護士、子どもの福祉に関わるNPO法人とのつながりができた。今後、相談や連携をしていく。 ・小規模保育園を立ち上げ、幅広く児童福祉施設を運営しているNPO法人の講義から、今後のHFH活動の方向性を考えることができた。</p>		<p>この1年間の活動を通じて</p>		<p>・受益者向けのリーフレットを受益者目線に修正したことで、受益者が本HFHへの利用がしやすくなった。 ・産科婦人科医院から、依頼ケースの連絡が入ってきており、家庭訪問支援が開始された。 ・翻訳冊子は、妊娠出産体験者から、自分の時にあったら助かったという意見が聞かれた。 ・他組織との交流会により、HFHの認知が広がった。</p>